

たつの市定例記者会見資料	
発表年月日	令和6年6月3日(月)
担当課	教育事業部歴史文化財課
電話	0791-75-5450

報道機関各位

埋蔵文化財センターロビー展
「収蔵庫の隠れたおたから」第1期を実施

たつの市が所蔵している埋蔵文化財のなかには、優品でありながら特別展・企画展に組み込むことが難しいものなどが存在します。これらを有効に活用するため、埋蔵文化財センターロビーにて簡易な展示を行うものです。

展示は2期に分けて実施し、第1期は揖保川町養久山18号墳出土壺棺を展示します。

記

- 1 展示名称 「収蔵庫の隠れたおたから」第1期
—揖保川町養久山18号墳出土壺棺—
- 2 開催場所 たつの市立埋蔵文化財センターロビー
- 3 開催期間 令和6年6月5日(水)～6月30日(日)
(休館日 毎週火曜日)
- 4 展示内容 揖保川町養久山18号墳出土壺棺 1点
- 5 観覧料 無料
- 6 その他 第2期は令和6年9月4日(水)～9月29日(日)の期間
で揖保川町黍田F号墳出土鉄斧を展示予定。

ロビー展示 収蔵庫の隠れたおたから 展示資料について

第1期 揖保川町養久山18号墳出土壺棺

1 展示資料の概要

揖保川町養久に所在する養久山18号墳墳裾から出土したとされる。採集資料のため出土状況等は不明である。高さ約35cm、幅約30cm。倒卵形の形状と鮮やかな赤色が印象的な壺である。

時期は古墳時代初めごろ（約1,750年前）である。

2 来歴

1960年代には存在が知られていた。昭和60（1985）年に刊行された養久山古墳群の発掘調査報告書の中で実測図が公表され、その後、揖保川町文化センターの文化財展示室にて展示されていた。

3 資料の評価

養久山18号墳から出土した唯一の土器で、全体の形状も把握できる。全体的な形状や製作痕跡の特徴などから古墳時代の初めごろの土器と推定される。出土状況から壺棺として用いられたと推定される。

養久山古墳群の形成過程を知るうえで、時期的な定点を示す資料である。

4 本資料選定の理由

上記のとおりたつの市にとって重要な資料ではあるが、前回の復元後、約半世紀を経て接着剤の劣化が目立ち、また、一部に接合誤りも見られたことから、令和5年度、埋蔵文化財センターにて破片の接合ならびに修復作業を行った。

本展示は修復のお披露目も兼ねたものである。

展示対象の写真



揖保川町養久山 18 号墳出土土器

展示対象の出土地点（第 1 期 養久山 18 号墳）

